

サマープログラム 体験談

経済学部経済学科 萩岡 優真

1. サマープログラムを申し込んだ動機について

昨年、経済学部の国際研修を履修し、アメリカに2週間滞在した。現地での文化、景観、人間性、見るものすべてが新鮮であり、日本では経験することの出来ないような貴重な体験をすることができた。



この国際研修がきっかけとなり、更に多くの国へ行き、自分の目で様々なものを見て回り、そして少しでも英語スキルを向上させたいという思いがより強くなった。また、以前から海外へ行くことへの関心が強く、学生である今しかできないだろうという考えもあり、このサマープログラムに参加した。

2. 現地での語学コースについて

○参加したコース(レベル)

Culture(B1), Action(B2), Global Graduate(B1)

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、反省点、感想など)

<授業内容>

主に、イギリスの文化やスポーツについて学んだ。授業はコミュニケーションを中心に進められ、毎週末には個人で作成したパワーポイントを使って、プレゼンテーションを行った。

<良かった点>

- ・先生がとても親切で、分かりやすく教えて下さった。
- ・毎週水曜日には、サマープログラムで UCLan に来ている学生全員(日本、中国、韓国、スペイン)で有名な観光施設を見学して回ることが出来た。
- ・日本語が一切ない環境であったため、英語のスキルが上達するまでには至らずとも、日常生活に支障のない程度には慣れることが出来た。
- ・毎週クラス替えがあり、日本以外の国の学生とも交流でき、親睦を深めることが出来た。



<悪かった点、反省点>

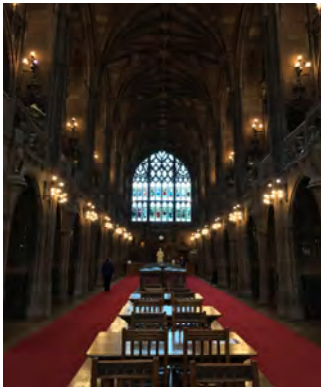
- ・英語に関する最低限の知識と語学力を身につけてから行くべきだった。先生からの問いかけに対し意思表示が出来ない時があり、困らせてしまった。

○授業の一環の小旅行に対する感想

他国の学生など国を超えて親睦を深めることが出来た上、貴重な体験もすることができ、とても素晴らしい企画だったと思う。

イギリス、ヨーロッパならではの石造りの街並みや、澄み渡った青空を満喫できた湖水地方、ビートルズゆかりの地であるリバプールへ旅行した。なかでも特に印象に残っているのは、有名なサッカーチーム、マンチェスターユナイテッドのスタジアムを見学したことであった。通常は立ち入れないような場所も見学でき、とても良い体験が出来た。

週末に個人で行く観光とは違い、集団で行動するため、多くの人と仲を深める良い機会となった。



3. 宿舎について(良かった点、悪かった点、感想など)

<良かった点>

- ・寮内の設備が整っていて、快適に過ごすことが出来た。

<悪かった点>

- ・バスルームの蛇口から水漏れがする部屋が見受けられた。

4. 現地での生活全般について

- ・大学や寮周辺には、コンビニやスーパーなどの店が集中しており、食材や生活必需品の買い出しに苦労しなかった。

- ・気温はとても涼しく、毎日上からパーカーなどを羽織っていた。服は少なめに持って行き、必要な物は現地調達をしていた。

- ・食材や調理器具は、話し合っ一部共有して使用することにより、安く済ませていた。

<少し困った点>

- ・観光地ではトイレが少なく、有料の場合が多い。

・寮以外の水道からは、熱湯に近いお湯が出てくる。

5. プログラムに参加して、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

- ・英語を話すことに限らず、人前で話すことや、積極的にコミュニケーションをとることに間違いなく自信がついた。
- ・英語を上手く話せなくとも、必死に伝えるために努力すれば伝えることが可能であり、逆に分からないからと話さないでいることは勿体無いと知った。
- ・下調べをすることの重要さを何よりも痛感した。英語の学習は勿論、観光する計画も立てておくべきだと思った。
- ・海外への関心が強まり、もっと英語を勉強したいと思った。
- ・現地の人達の温かさを知った。当たり前のことではあるが、優しく親切なのは日本人だけではないと身をもって痛感した。
- ・日本人と違い、自分の考えを堂々と相手に伝える点を見習っていきたいと思った。

6. プログラム全体に対する感想、反省

サマープログラムに参加して、とても充実した3週間を過ごすことが出来た。最初は正直なところ不安であったが、現地で生活していく中で次第に慣れていき、3週間では短い、もっと滞在したいとまで思うようになった。

英語に関しては、上達はしていなかったとしても、生活していく上で必要な英語スキルは多少身に付いたのではないかと実感した。慣れる、という表現が近いと思う。あと半年くらい滞在すれば、目に見える変化があるのではないかと思った。授業でも、丁寧な指導のもとイギリスについて学ぶことができ、また知識の幅を広げることが出来た。

学習面以外でも、観光で様々な場所を訪れることによって、日本では決して味わうことが出来ないような体験をすることが出来た。街ゆく人々と会話をするこも、いつの間にか楽しみの一つになっていた。

最初は長く感じた3週間もあっという間に過ぎ、帰国後は、面白いことに逆に全てが久々の光景で新鮮であった。イギリス人と日本人では人間性も何もかもが異なり、家に帰るまでの間、そんな違いに気づくことも海外に行くことの楽しさだなと思った。

サマープログラムでは、英語以外にも人間性、積極性など様々なことを学ぶことが出



来た。出発前と比べ、明らかに考え方や物の見方が変わったと思う。これが一番の収穫なのではないかと思った。これから就職活動も控えているが、将来の就職に対する考えにも変化があった。とても貴重な経験を積むことができたので、これらの体験を今後しっかりと活かしていきたいと思う。

7. イギリスに持って行った方がいい物、もしくは持って行く必要がなかった物について

日本食少々、味噌汁(後半食べなくなる)、箸、ウエットティッシュなどは持って行った方が良い。

8. 休暇のプランの立て方や行った場所など詳しく教えてください。

ほとんど電車と徒歩で移動した。また、ブリットレイルパスという、イギリス全土で利用可能で有効期間が8日間のパスを利用したが、ちょうど良かったと思う。GoogleMapはオフラインでも使えるため、ダウンロードしておくとう便利であった。

<訪れた場所>

ヨーク、マンチェスター、ロンドン、チェスター、エディンバラ、湖水地方、リバプール(ロンドンとリバプールは2回訪れた)

プランの立て方に関しては、行き先を決めたらまず行きと帰りの電車を調べ、一日のスケジュールはその時刻表の時間に沿って決めていった。

9. イギリスに持参した現金の金額とクレジットカードで使用した金額はどれくらい？

現金(紙幣):2万2千円程度、クレジットカード:5万~6万程度

